バンドパスフィルタ・133.6–173.6 MHz

信号経路のタイミング評価には遅延変動の上限 15 ns を使用してください。基板設計時は RF ポートのパッド幅に合わせて 50 Ω マイクロストリップ線路の幅を検討します。

RF 特性

項目	値
通過帯域	133.6–173.6 MHz
通過帯域内挿入損失 [1]	≤ 3.0 dB
通過帯域内リップル [1]	≤ 1.0 dB
帯域外減衰量 · DC–113.6 MHz	≥ 40 dBc
帯域外減衰量 · 193.6–1000 MHz	≥ 40 dBc
VSWR [1]	≤ 1.50
遅延変動	≤ 15 ns

[1] 133.6–173.6 MHz

設計定格 設計保証

項目	値
許容電力	1 W
動作温度	−40…+70 °C
保存温度	−55…+85 °C

機械仕様

項目	値
RF 端子	表面実装
RF インピーダンス	50 Ω
筐体寸法	20 × 9 × 5 mm (寸法公差 ±0.2 mm)

実装と取扱い

製品表面を清掃する際は、フィルタを洗浄液に浸さないでください。 190 °Cのリフローはんだ付けに対応します。 50 Ωのマイクロストリップ線路を使用してください。線路幅はRFパッドの幅にできるだけ近づけるか、同じ幅またはそれ以上としてください。 2000 MHzを超える周波数向けの多層マイクロ波基板の開口部にフィルタを埋め込む場合は、確実に接地してください。

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。